

日本学生支援機構 大学院第一種奨学生

## 2025 年度特に優れた業績による返還免除申請手続きについて

大学院において第一種奨学生の貸与を受けた学生で、特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に奨学生の全部または一部の返還が免除される制度です。ただし、大学から推薦できる枠には限りがあるため、申請者全員が免除されるわけではありません。予めご了承ください。

### ■対象者

大学院（修士、博士課程前期、博士課程後期、教職大学院）での第一種奨学生貸与者で、2025 年度中（2025 年 4 月～2026 年 3 月）に貸与終了する者（終了予定も含む）。

※課程修了は要件ではありません。（途中辞退者、修了・退学等で現在、大学に在籍していない者も申請できます。）

※第一種奨学生（海外協定派遣対象）も返還免除の対象となります。

### ■申請方法：以下、①及び②の両方の書類を提出する必要があります。

※①と②で提出書類・提出先・提出期間が異なりますのでご注意ください。

#### ① 「業績優秀者返還免除申請書」（様式 1 – A）の提出

原則、下記、提出フォームより受け付けます。

【提出期間】 2026 年 1 月 8 日(木)～2 月 5 日(木) 17:00 まで

##### 【提出書類】

- 「業績優秀者返還免除申請書（様式 1）」

<https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/expense/domestic/jasso/repaymentexemption/>

（横浜国立大学ウェブサイト > 教育・学生生活 > 学生支援課ウェブサイト）

※様式は学生支援課ウェブサイトよりダウンロードし、PCで作成してください。

##### 【提出先】

提出フォーム <https://forms.office.com/r/vFjzM7JEFs>



※提出フォームは ynu.jp アカウントからのみアクセス可能です。

※提出フォームからの提出が出来ない方（既に修了されている方等）は

学生支援課経済支援係 (gakusei.keizai@ynu.ac.jp) までメールにて提出

※メールでの提出の場合はファイルに在籍時の学籍番号でパスワードをかけてください。

【提出部数】 Excel ファイル 1 部

#### ② 「特に優れた業績を証明する資料」の提出

【提出期間】 7 ページ目以降を確認の上、所属の大学院担当係の指示に従ってください。

##### 【提出書類】特に優れた業績を証明する資料

（業績優秀者返還免除申請書（様式 1 表裏）の業績の種類に記載した項目の資料）

【提出先】 7 ページ目以降を確認の上、所属の大学院担当係の指示に従ってください。

### ■結果発表

2026 年 7 月下旬に、学内選考通過者のみ、日本学生支援機構から書面にて結果が送付されます。採用者はスカラネットパーソナルからも確認ができます。

※学内選考の結果等について大学からの発表は行っておりませんので予めご了承ください。

### ■注意事項

- ・提出期間終了後は、いかなる理由があっても受付けません。
- ・不備等が見つかったときは連絡します。提出期間内に不備が解消されない場合は、申請は無効になります。
- ・訂正箇所がある場合は、二重線で訂正してください。
- ・提出された書類は返却しません。必要な場合は事前にコピーしておいてください。

- 返還免除の対象となる第一種奨学生の貸与を受けていた期間での業績が評価対象となります。
- 例)・博士課程後期で貸与を受けていた場合、学部・修士課程での業績は評価対象となりません。  
 ・修士課程2年から貸与を受けていた場合、学部・修士課程1年での業績は評価対象となりません。
- 2023年度以降に博士（後期）課程において第一種奨学生として採用された者で、博士課程在学中に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が主体となり、本学でも実施している「次世代研究者挑戦的研究プログラム（YNU-SPRING）」又は「次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）（YNU-BOOST）」の支援を受けた者は、特に優れた業績による返還免除の対象外です。

## ■申請書類について

(1) 「■申請方法」の①で提出する書類：学生支援課ウェブサイトより業績優秀者返還免除申請書（様式1）をダウンロード（上記リンク）し、作成の上、Excelファイル1部を提出してください。

※提出時のファイル名は「学籍番号」+「氏名」+「申請書」としてください。

例：24NA000 横国太郎申請書

※特に優れた業績として申請する業績の種類1～10の項目の欄に記入し、資料番号をつけてください。資料番号をつけた資料は別途、「特に優れた業績を証明する資料」として所属の大学院担当係に提出する必要があります。

※業績が多く、両面では書ききれない場合は、ページを増やしても構いません。

(2) 「■申請方法」の②で提出する書類：「特に優れた業績を証明する資料（以下、「成果物書類」という）となります。「業績優秀者返還免除申請書（様式1-A表裏）」の業績の種類に記入した内容に沿って準備してください。

※準備した成果物書類について、それぞれどの業績を証明する書類なのかが照合できるように、成果物書類の先頭ページの右上に「業績優秀者返還免除申請書（様式1-A）」の業績の種類に記入した業績の資料番号と同一の番号をそれぞれ記入してください。

※所属の学府等により提出方法・提出書類の整え方・提出先・提出期間が異なります。

必ず別紙（7ページ以降）も確認のうえ、所属の大学院担当係の指示に従って提出してください。

## ■『教育研究活動等の業績』について

3～6ページの1～10に記載の業績及び項目に沿って提出された資料により評価がなされます。提出資料（各証明書類）は参考例です。学府等によってはさらに指示がある場合があります。詳細は、別紙（7ページ以降）を参照したうえで各学府係等の指示に従って提出してください。

### 1. 学位論文その他の研究論文

【大学院における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	最大ページ数
(1) 学位論文（修士論文、博士論文等）	論文の別刷またはコピー ①申請者姓名（著者名）②論文タイトル・③論文内容の概要（書き出し部分または要約）④【査読付きの場合】学術雑誌名および学術雑誌発行年が確認できる部分のコピー（4枚以内） ※掲載が内定している場合は掲載元が発行した文書、掲載元からの内定を通知するメール等を添付してください。 ※学府等によっては、一覧表や論文ごとのまとめを提出する場合があります。	4
(2) 研究論文		4
【専攻に関連した学外における教	提出資料（各証明書類）	

【育研究活動等】		
(3) 権威のある学会誌、学術誌への掲載論文又は掲載予定論文	<p>論文の別刷またはコピー</p> <p>①申請者姓名(著者名)②論文タイトル③論文内容の概要(書き出し部分または要約)④【査読付きの場合】学術雑誌名および学術雑誌発行年 の必須項目が確認できる部分のコピーと論文内容の概要(4枚以内)</p> <p>※掲載が内定している場合は掲載元が発行した文書、掲載元からの内定を通知するメール等を添付してください。</p> <p>※学府等によっては、一覧表や論文ごとのまとめを提出する場合があります。</p>	4
(4) 関連した研究内容の学会発表等	<p>発表したこと、受賞・表彰されたことのわかるもの。</p> <p>①申請者姓名 ②題目 ③会議名 ④発表年 ⑤賞の名前が含まれる資料【表彰・受賞がある場合】</p> <p>の必須項目が確認できる資料(4枚以内)・学会のプログラム表紙とタイムテーブルおよび表彰状など。</p> <p>※学府等によっては、一覧表や発表ごとのまとめを提出する場合があります。</p>	4
(5) 権威のある学会賞、学術賞の受賞		4
(6) 権威のある学会等表彰		4
(7) 日本学術振興会の特別研究員採用により <u>奨学金を辞退</u>	<p>①申請者姓名②年度(月日は無くても可)</p> <p>・特別研究員審査結果通知書など</p>	4
(8) 論文を主とする研究成果が評価され研究助成金を獲得	研究助成金の名称・金額・受給者等のわかるもの	4
(9) 日本学生支援機構以外の給付奨学金や外部資金の獲得により <u>奨学金を辞退</u>	<p>給付奨学金または外部資金の名称・金額・受給者等のわかるもの</p> <p>・獲得した競争的資金の名称</p>	4

2.大学院設置基準第16条に定める特定の課題(論文以外の成果物。美術作品、建築物等。)についての研究成果 **※大学院設置基準第16条は修士課程の修了要件に関する規定のため、博士課程後期は該当しません。**

【大学院における教育研究活動等】	提出資料(各証明書類)	
(1) 本学大学院学則第18条第1項及び第2項(修了要件)に定める特定の課題についての研究の成果	美術作品、建築物製作の場合は、その作品がわかる写真・説明書等。(※ 現物の提出は不要。) および試験・審査の合格結果がわかるもの ポートフォリオの場合はそのコピー	3

3.大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果(論文・特定の課題以外で学位を取得した場合。)

**※大学院設置基準第16条の2は博士課程前期の修了要件に関する規定のため、博士課程後期は該当しません。**

【大学院における教育研究活動等】	提出資料(各証明書類)	
(1) 本学大学院学則第18条第3項(修了要件)に定める試験及び審査の結果	学位論文及び特定の課題に代わり、試験および審査を受けた場合、その試験・審査の合格結果がわかるもの	3

4.(専攻分野に関連した)著書・データベースその他の著作物(上記1.及び2.に掲げるものを除く。)

【大学院における教育研究活動等】	提出資料(各証明書類)	
(1) 単著(学術書・一般書)	著書の表紙・目次のコピー。(※現物の提出は不要。)	3
(2) 共著(学術書・一般書)	① 申請者姓名 ②著書のタイトル ③文章の要約④発行年 の必須項目が確認できる資料(3枚以内)	3
(3) 翻訳書(単著・共著)	※学府等によっては、一覧表や著作物ごとのまとめを提出する場合があります。	3

【専攻に関連した学外における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	
(4) 出版物が権威ある学術団体等から評価	著書・データベース解説書の表紙・目次のコピーなど、①申請者姓名 ②著書またはデータベースのタイトル ③文章またはデータの要約④発行年 の必須項目が確認できる資料（3枚以内）評価・優秀な成績を獲得したことがわかるもの ※学府等によっては、一覧表や著作物ごとのまとめを提出する場合があります。	3
(5) データベースが権威あるコンテスト等で優秀な成績を獲得		3

## 5. 発明

【大学院における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	
(1) 発明、発見、新技術等が大学から優秀であると認定	認定されたことのわかるもの、発明等の内容がわかるもの ・出願中の場合、特許願・登録済の場合、特許証 ①申請者姓名 ②特許等の出願番号 ③特許等の出願日あるいは登録日 ④特許登録番号 の必須項目確認できる資料（3枚以内） ※学府等によっては、一覧表、まとめを提出する場合があります。	3
【専攻に関連した学外における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	
(2) 発明、発見、新技術等が権威ある学会、学術団体から評価	評価されたことのわかるもの、発明等の内容がわかるもの 特許証等（必要項目は同上） ※学府等によっては、一覧表やまとめを提出する場合があります。	3
(3) 発明、発見、新技術等が権威あるコンテスト等で評価		3
(4) 発明、発見、新技術等が社会的に評価		3

## 6. 授業科目の成績

【大学院における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	
(1) 授業科目の成績	成績証明書 ※貸与を受けていた課程の成績（現時点で取得できる最新のもの）。 ※事務で用意する場合があります。	2

## 7. 研究又は教育に関する補助業務の実績

【大学院における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	
(1) RA、TAによる教育研究活動補助業務	辞令・委嘱状・勤務状況報告書等のコピー ①申請者姓名②研究プロジェクト名あるいは授業名（専攻分野との関連が確認できる程度）③年度 の必須項目が確認できるもの。	3
(2) 留学生チューターによる教育研究活動補助業務	※記載がない場合は、余白に記載すること ※学府等によっては一覧表・まとめ・担当教員等の証明を提出する場合があります。	3
【専攻に関連した学外における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	
(3) 学外非常勤講師、研究員等による教育研究活動補助業務	辞令・契約書・勤務状況報告書等のコピー ①申請者姓名②研究プロジェクト名あるいは授業名（専攻分野との関連が確認できる程度）③年度 の	3

	必須項目が確認できるもの ※記載がない場合は、余白に記載すること ※学府等によっては一覧表・まとめ・担当教員等の証明を提出する場合があります。	
--	---	--

8. (専攻分野に関連した) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績

【専攻に関連した学外における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	
(1) 権威のある音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における入賞	入賞したことのわかるもの。表彰状等 ①申請者姓名 ②発表会名 ③年度 ④成績（賞の名前、順位等） の必須項目が確認できるもの	3

9. (専攻分野に関連した) スポーツの競技会における成績

【専攻に関連した学外における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	
(1) 国際大会参加、全国大会入賞、地区大会3位まで程度	参加、入賞したことのわかるもの。表彰状等 ①申請者姓名 ②競技会名 ③年度 ④成績（賞の名前、順位等） の必須項目が確認できるもの  ※学府等によっては、一覧表やまとめを提出する場合があります。	3

10. (専攻分野に関連した) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績

【専攻に関連した学外における教育研究活動等】	提出資料（各証明書類）	
(1) ボランティア活動その他の社会貢献活動により表彰	表彰、活動したことのわかるもの ①申請者姓名 ②イベント等名（専攻分野との関連が確認できる程度）③年度（月日は無くても可） の必須項目が確認できるもの	3
(2) ボランティア活動その他の社会貢献活動で名前が載った資料等（公的刊行物）	※学府等によっては、一覧表やまとめを提出する場合があります。	3

※著書や作品など現物の提出は必要ありません。コピーや写真等、評価されたことがわかるもの（本人の氏名が確認できる雑誌等の掲載部分や賞状のコピー等）を添付してください。また、採用通知書・辞令・賞状など本紙が一部しかないものについてはコピーを提出してください。

※専攻分野に関連しない「発表会」「スポーツの競技会における実績」「ボランティア活動」等は評価の対象となりません。

### ●業績優秀者返還免除申請書（様式 1-A）

2025年底，業績便會重返過多危險中請書

2029年度 奨励優秀者返還研究免申請書

西脇 年 月 日

独立行政法人日本学術振興会機構理事長総裁

私は以下のとおり底本をいたうで、特に記載した箇所による追加免除を申請します。なお、半生詩書類或水印に捺はれません。  
 請求書をもつたが、該文書に本学の支拂債務が記載された場合は、古返還料金に付するアーティストや講師の意力  
 などに影響する。  
 (2029年度以降に半生(後期)課程及び修士(学、専、英)院修業権にて第一回受賞生として採用された者は)  
 研究助成金又は准入門料(学術振興会助成料、JST)が実施する「新技術イノベーション」に向けた大学フェューチャップ  
 研究事業」又は「次世代研究者育成的研究プログラム(SPRING)」又は「基礎教養分野の若手研究者及び博士後期  
 研究生の育成事業」(BOST)又は代入人材育成プログラム(博士後期振興会)の支援を受けて候介は、  
 免除が取扱われるることを承知しています。

フリガナ  
氏 名

大 学 名					
科 目 当 の 授 業 名 に 記 し て 下 さ る		<input type="checkbox"/> 修士(博士前期)課程		<input type="checkbox"/> 専門職単位課程	
				<input type="checkbox"/> 博士(博士後期)課程	
研究科名・専攻名				学 様 姓 号	
姓 学 生番号		0 6		生 年 月 日 西脇 年 月 日	
<input type="checkbox"/> 上記で返還料金詳説において、内定者として認定されている。					

※該当する場合のみ、□を■にしてください。

大学院における研究課題等

概要

業績の種類	
(1) 契約を認める旨を添付し、申請書に書かれた賞賛番号を付記してください。 (特に記入:署名は学校の事務取扱担当者が使用します。)	
(2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入範囲に変更がなければ、直数が3頁以上にならっても構いません。	

業績の種類		資料番号	
学位論文その他研究論文	学位論文		
	研究論文	直筆(手稿 原稿提出 書面提出)	※全文没書き原稿提出の申請、書類、学会で受取、最初の左欄に 印を記載してください。
		通常 (電子 書面提出)	
学会での発表			

日本学術振興会の特 別研究員に採用、ま たは、民間団体等が 公募して競争的 な審査によって より奨励金を御追	日本学術振興会の特 別研究員に採用、ま たは、民間団体等が 公募して競争的 な審査によって より奨励金を御追	

(様式1-A裏)

業績の種類		資料番号	機関に提出
2 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	※修士課程の学生のみ対象		
3 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	※修士課程の学生のみ対象		
4 (専攻分野に関する)著書、データベースその他著作物(1及び2に掲げるものを除く)			
5 (専攻分野に関する)発明			
6 (専攻分野に関する)授業科目の成績			
7 (専攻分野に関する)研究会は教育に係る補助業務の実績			
8 (専攻分野に関する)音楽、演劇、美術その他藝術の発表会における成績			
9 (専攻分野に関する)スポーツの競技会における成績			
10 (専攻分野に関する)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)			

■本件担当 横浜国立大学 学生支援課 経済支援係（学生ヤンター2階①窓口）

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区富士見台79-8 メール：[sakusei\\_keizai@ynu.ac.jp](mailto:sakusei_keizai@ynu.ac.jp)

# 【理工学府】「特に優れた業績を証明する資料」の提出について

独立行政法人日本学生支援機構大学院第一種奨学生返還免除申請者は、下記期限までに、大学院在学中に挙げた優れた業績を証明するための資料を理工学系教務課理工学府係に提出してください。

提出期限：令和8年2月12日（木）17:00まで期限厳守（※郵送の場合は必着）

提出先：理工学系教務課理工学府係

※郵送で提出する場合は、下記住所までレターパックや特定記録郵便など配達記録が残る方法で郵送してください。  
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5 横浜国立大学理工学系教務課理工学府係

## ◆はじめに（提出書類作成にあたり、よく読んでから「◆提出書類」を準備してください。）

- ・提出書類は2部作成してください。
- ・提出書類は返還免除の対象となる第一種奨学生の貸与を受けていた期間の業績を準備してください。
- ・書類はA4判用紙を用いて作成し、A4縦判のフラットファイル（2穴）に綴じてください。ファイル（2部とも）の表紙と背表紙には、学籍番号および氏名を記入してください。
- ・ファイル（2部とも）の冒頭には「業績優秀者返還免除申請書（様式1）」のコピーを綴じてください。
- ・提出書類の各書類の先頭ページには、資料番号を付番してください。資料番号は、「業績優秀者返還免除申請書（様式1）」に記載した番号と一致させてください。
- ・10ページ以降のチェックシートを両面印刷し、予め自身で確認の上、【作成書類ファイル2部+チェックシート1枚】を理工学府係に提出してください。

## ◆提出書類

業績の種類	
1. 学位論文その他研究論文	学位論文  査読付き学術雑誌に掲載または採録が決定した論文、査読付き学術雑誌へ投稿中の論文
	<p>◆提出物 ①②すべて提出（③は該当者のみ提出） ①一覧表（筆頭著者、共著者の別が分かるもの・論文タイトル・学術雑誌名・発行年月日を含めた内容で作成してください。） ②研究論文ごとのA4用紙1枚程度のまとめ、もしくは、研究論文の別刷またはコピー ※<u>自身の氏名をハイライトしてください</u>。</p> <p>③採録が決定した論文で掲載前の場合はその通知、投稿中の論文は投稿受け取り通知</p> <p>◆注意事項 申請者が筆頭著者の場合は、提出ファイル冒頭に添付する「業績優秀者返還免除申請書（様式1）」の<u>ご自身の氏名に下線を引いてください</u>。</p> <p>「業績優秀者返還免除申請書（様式1表）」 &gt;業績の種類 &gt;1. 学位論文その他研究論文 &gt;研究論文 &gt;氏名箇所に下線を引く</p>
	学会での発表等

論文及び学会での発表により受賞または表彰による機関以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得	<p>◆提出物 受賞または表彰され、給付奨学金や外部資金を獲得したことが分かるもの <b>※自身の氏名をハイライトしてください。</b></p>
日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退	<p>◆提出物 日本学術振興会の特別研究員に採用が決定されたことがわかるもの、または、民間財団等の競争的資金獲得したことがわかるもの</p>
2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	<p>対象者（<a href="#">博士課程前期 TED・PSD・理学プログラム</a>および<a href="#">博士課程後期</a>）は必ず提出してください。 ◆提出物 ポートフォリオのA4用紙2～4枚程度のまとめ</p>
3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	<p><u>理工学府は該当なし</u></p>
4.（専攻分野に関連した）著書、データベースその他の著作物（1及び2に掲げるものを除く）	<p>◆提出物 ①②③すべて提出          ①一覧表          ②著作物ごとのA4用紙1枚程度のまとめ          ③著書の場合：表紙・目次のコピー          データベースの場合：解説書の表紙・目次のコピー  <b>※自身の氏名をハイライトしてください。</b>           他の著作物に該当するものがある場合は、個別にご相談ください。</p>
5. 発明  特許出願、標準化、製品化など、証拠を明示できるものに限る。	<p>◆提出物 ①②③すべて提出          ①一覧表          ②発明等（考案・意匠、他の創作）1件ごとのA4用紙1枚程度のまとめ          ③発明等の内容が記載された報告書、論文等のコピー、写真  <b>※自身の氏名をハイライトしてください。</b></p>
6. 授業科目の成績	<p>◆提出物 返還免除申請対象期間の成績証明書（※コピー不可）</p>
7. 研究又は教育に係る補助業務の実績  <u>1学期以上継続した</u> 学生実験や授業科目の補助、障がい学生を支援するキャンパス・センターに限る。	<p>◆提出物 ①②すべて提出          ①リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント、キャンパス・センター等の実績の一覧表（業務内容、期間、TAの場合は授業名を記載すること）          ②委嘱状（辞令）の写し又は担当教員等の証明書</p>
8.（専攻分野に関連した）音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	<p>◆提出物 活動の実績がわかるもの  <b>※自身の氏名をハイライトしてください。</b></p>

9. (専攻分野に関連した) スポーツの競技会における成績	<p>◆提出物 活動の実績がわかるもの <b>※自身の氏名をハイライトしてください。</b></p>
10. (専攻分野に関連した) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	<p>◆提出物 活動の実績がわかるもの <b>※自身の氏名をハイライトしてください。</b></p>

#### ◆よくある質問

Q. 学会プログラムがないので、発表資料だけ提出でよいか？

A. 学会に参加したことが客観的にわかる資料が必要なので、原則プログラム等の資料が必要です。

ただし、インターネット上に期間限定で公開されていた等で、現在入手する手段がないのであれば発表資料のみの提出でも受け付けますので、今一度該当資料がないか確認してから提出してください。

Q. 理工学府の締切後に発表予定の学会がある。業績に入れていいか？

A. 業績に入れて構いません。予定であっても、プログラム表等の証拠資料が必要ですのでご用意ください。  
なお、理工学府締め切り後の追加提出等は一切受け付けません。

Q. △△財団から奨学金を受給している。業績に入れていいか？

A. 論文や学会発表等の研究成果が評価され獲得したものであれば、業績に入れて構いません。

家計基準が設けられている等、経済的支援の性質が強いものは業績に含めません。

大学推薦枠の給付奨学金は後者に近いため、対象外です（例：東燃ゼネラル、大塚）。

Q. 単発（複数回）の研究補助アルバイトを業績に入れてもいいか？

A. 1学期以上継続した学生実験や授業科目の補助が対象ですので、業績に入れることはできません。

Q. TA、RA等の委嘱状（辞令）を無くしてしまった。再発行はできるか？

A. 教職員係（N8-4 理工学系事務棟2階）でコピーを発行可能です。

#### ◆必ず確認

- 作成書類に不備がないか、よく確認してから提出してください。

- 不備等があった場合はYNUメール宛てに連絡しますので、定期的にメールを確認してください。

#### ◆今後のスケジュール

4月上旬 学府推薦枠最終決定

7月下旬 返還免除者の決定

日本学生支援機構から通知が届いた方が返還免除決定者です。大学からの発表はありません。

また、結果について、個々の問い合わせにも対応いたしませんのでご了解ください。7月末までに通知が届かない方は、選考もれとなりますので、奨学金返還開始は、10月からとなります。

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

横浜国立大学理工学系教務課理工学府係

TEL : 045-339-3817 / 3818

FAX : 045-339-3820

E-mail : ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp

# 日本学生支援機構第一種奨学金返還免除申請にともなう提出資料 チェックシート

提出日： 年 月 日

学籍番号：

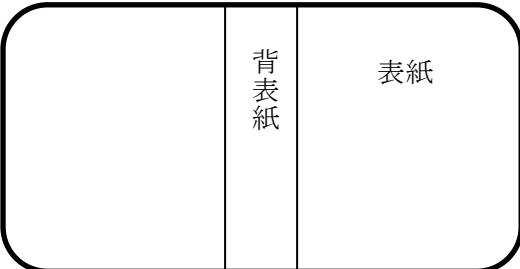
教育プログラム：TED / PSD / 理学 / PED

氏名：

第一種奨学金貸与期間： 年 月～ 年 月

※大学院（博士課程前期、博士課程後期）での第一種奨学金貸与期間を記入

以下のチェック項目を確認してから提出してください。

<p>◆ 体裁</p>		
<input type="checkbox"/>	ファイルが2冊あるか（色違いファイルでもOK）	
<input type="checkbox"/>	2冊とも同じ内容か	
<input type="checkbox"/>	表紙、背表紙に学籍番号、氏名の記載があるか 【参考】 	
<input type="checkbox"/>	ファイルはA4縦判2穴あけタイプか	
<input type="checkbox"/>	提出書類は返還免除の対象となる第一種奨学金の貸与を受けていた期間での業績か	
<input type="checkbox"/>	「業績優秀者返還免除申請書（様式1）」の整理番号と各種資料の番号が対応しているか (1-1、1-2・・・と枝番で付番)	
<p>◆ 学位論文 ※いずれかにチェック</p>		
<input type="checkbox"/>	博士前期 TED・PSD・理学または博士後期か（該当者は必ず提出）	
<input type="checkbox"/>	博士前期 PED→「2. 大学院設置基準第16条～」を確認	
<p>◆ 研究論文</p>		
<input type="checkbox"/>	申請者が筆頭著者の場合は、「業績優秀者返還免除申請書（様式1）」の氏名箇所に下線を引いているか	
<input type="checkbox"/>	研究論文の別刷り等、自身を含め複数の執筆者の氏名が掲載されている資料は、申請者がわかるよう当該の氏名にハイライトで目立つようになっているか	
投稿中、掲載待ちなど、掲載完了していない論文はあるか ※下記いずれかにチェック		
<input type="checkbox"/>	(ある場合) その状況がわかる資料が入っているか	
<input type="checkbox"/>	該当なし	
<p>◆ 学会等で発表等</p>		
<input type="checkbox"/>	学会で発表したことがわかる資料として、プログラム等が入っているか	
<input type="checkbox"/>	学会プログラム等の資料で自身の発表箇所がハイライトで目立つようになっているか	
<p>◆ 論文及び学会での発表により受賞または表彰による機関以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得</p>		
※いずれかにチェック		
<input type="checkbox"/>	該当資料が入っているか（入っている場合、氏名をハイライトしているか）	
<input type="checkbox"/>	該当なし	
<p>◆ 日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退</p>		
※いずれかにチェック		

<input type="checkbox"/>	該当資料が入っているか
<input type="checkbox"/>	該当なし
<b>◆ 大学院設置基準第 16 条に定める特定の課題についての研究の成果 ※いずれかにチェック</b>	
<input type="checkbox"/>	博士前期 PED か
<input type="checkbox"/>	博士前期 TED・PSD・理学または博士後期→「1-1. 学位論文」欄に記載
<b>◆ 大学院設置基準第 16 条の 2 に定める試験及び審査の結果</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	理工学府は該当なし
<b>◆ 著書、データベース、その他の著作物、作品の一覧と説明書 (1 および 2 に該当するものを除く) ※いずれかにチェック</b>	
<input type="checkbox"/>	該当資料が入っているか (入っている場合、氏名をハイライトしているか)
<input type="checkbox"/>	該当なし
<b>◆ 発明 ※いずれかにチェック</b>	
<input type="checkbox"/>	該当資料が入っているか (入っている場合、氏名をハイライトしているか)
<input type="checkbox"/>	該当なし
<b>◆ 授業科目の成績</b>	
<input type="checkbox"/>	成績証明書は 2 部とも原本か (コピー不可)
<b>◆ 研究または教育に関する補助業務の実績 ※いずれかにチェック</b>	
<input type="checkbox"/>	該当資料が入っているか
<input type="checkbox"/>	該当なし
<b>◆ (専攻分野に関連した) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績 ※いずれかにチェック</b>	
<input type="checkbox"/>	該当資料が入っているか (入っている場合、氏名をハイライトしているか)
<input type="checkbox"/>	該当なし
<b>◆ (専攻分野に関連した) スポーツの競技会における成績 ※いずれかにチェック</b>	
<input type="checkbox"/>	該当資料が入っているか (入っている場合、氏名をハイライトしているか)
<input type="checkbox"/>	該当なし
<b>◆ (専攻分野に関連した) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績 ※いずれかにチェック</b>	
<input type="checkbox"/>	該当資料が入っているか (入っている場合、氏名をハイライトしているか)
<input type="checkbox"/>	該当なし
<b>◆ 経済支援係への手続き</b>	
<input type="checkbox"/>	「業績優秀者返還免除申請書」は経済支援係にも提出済みか (もしくは提出が必要なことを認識しているか)
<input type="checkbox"/>	(「業績優秀者返還免除申請書」に修正があった場合) 経済支援係提出分も差し替えたか (もしくは差し替えが必要なことを認識しているか)